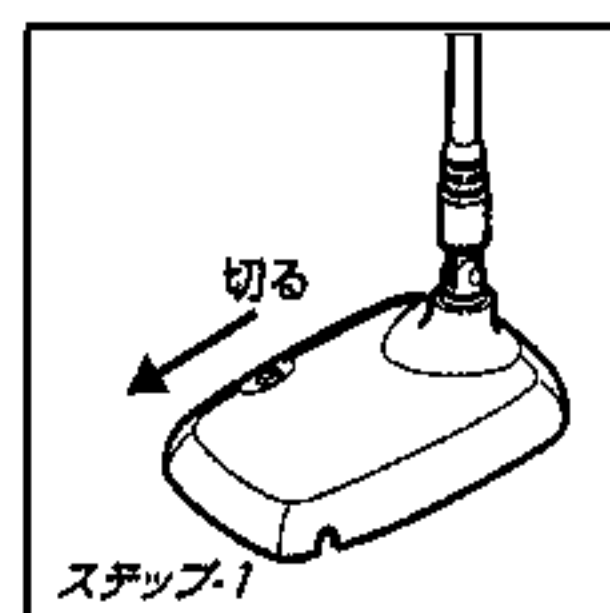


EGS-W2・D2・タイプA・W3 フットブレーキ検出への変更方法

ステップ 1 アンテナUNITのパワースイッチを切ります。

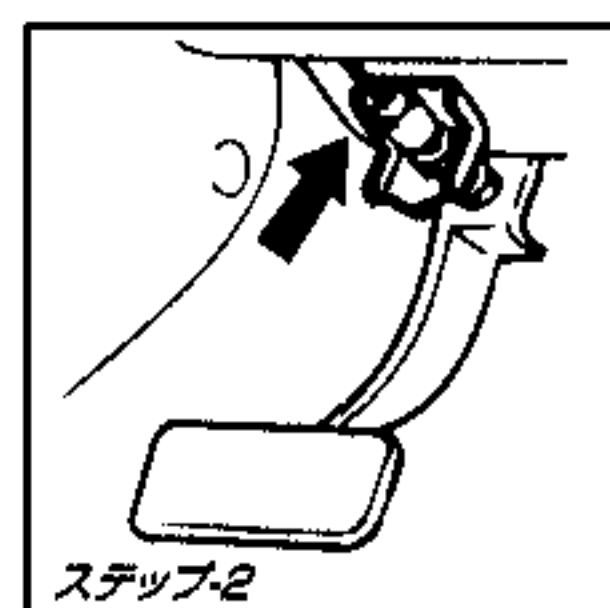
既に付属の安全センサーケーブルが本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。



ステップ 2 車のフットブレーキスイッチを探します。

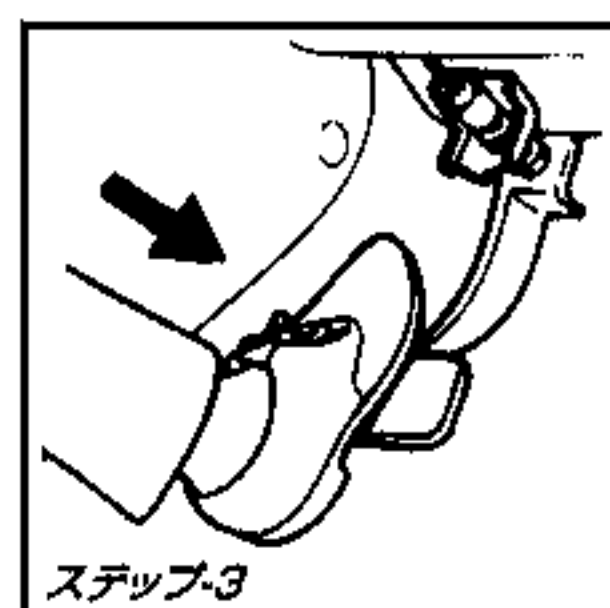
フットブレーキスイッチはブレーキペダルの根元付近にあります。

メモ フットブレーキとは、フット式パーキングブレーキの事ではありません。



ステップ 3 ブレーキペダルを踏んだとき12Vになる線を見つけます。

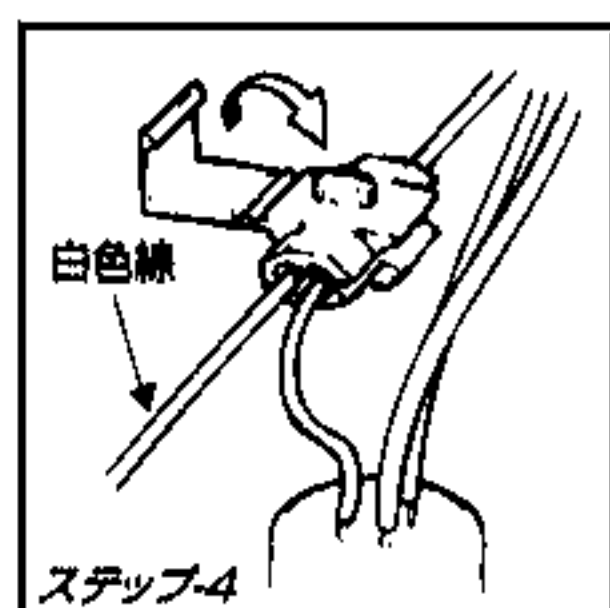
フットブレーキスイッチから出ている線の内、ブレーキペダルを踏まない時は0V、踏んだときに12Vになる線を見つけて下さい。(必ずテスターをご使用下さい。)



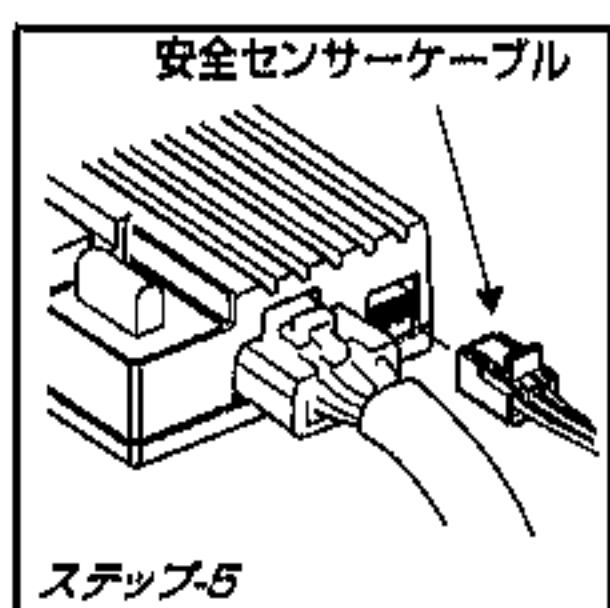
ステップ 4 安全センサーケーブルの白色線を接続します。

安全センサーケーブルの白色線を、ステップ3で見つけた線に接続します。
(付属のエレクトロタップ使用。)

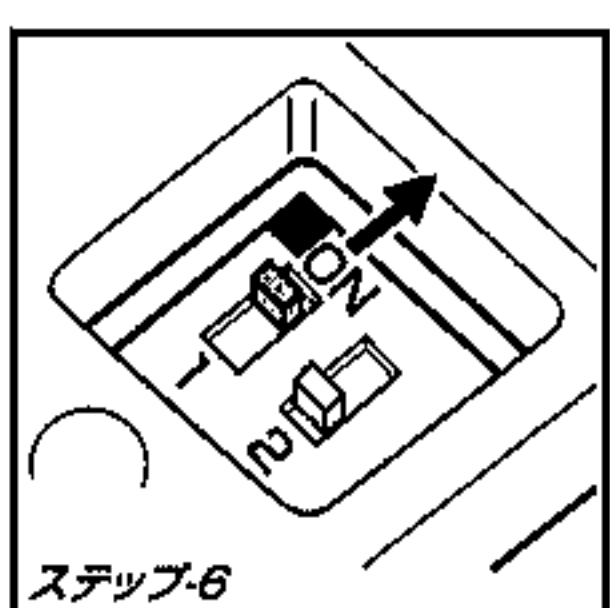
注意 接触不良が起きない様に確実に取り付けて下さい。
フットブレーキ検出がうまく行われない場合があります。



ステップ 5 安全センサーケーブルを本体のコネクター部 (CN2) に接続します。



ステップ 6 本体のモードスイッチの1番をONにします。



以上でフットブレーキ配線は終了です。

パワースイッチをONにしてリモコンでエンジンを始動させ、フットブレーキを踏んだ時にエンジンが停止する事を確認して下さい。